

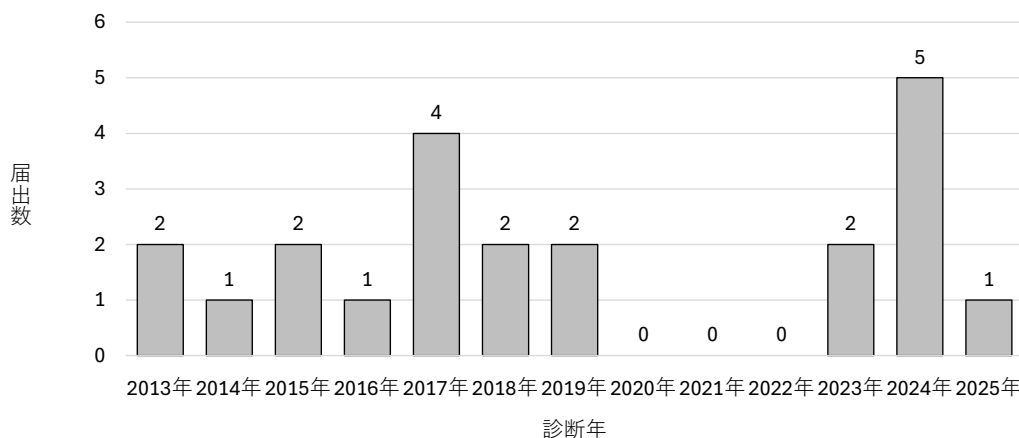
【今週の注目疾患】

《侵襲性髄膜炎菌感染症》

2025年第1週に県内医療機関から届出が1例あった。

なお、昨年2024年の累計届出数は5例であり、全国(第51週時点で65例)同様、本疾患のサーベイランスが開始された2013年4月以降で最多であった^{1,2,3)}。

図：2013年から2025年の県内の侵襲性髄膜炎菌感染症の診断年別届出数
(2025年第1週時点)



県内で2025年第1週までに届出のあった22例の概要は以下のとおり。

性別は男性14例(64%)、女性8例(36%)であった。

年代別では、40代6例(27%)、70代4例(18%)、50代3例(14%)、60代及び80代が各2例(各9%)、10歳未満、10代、20代、30代及び90代が各1例(各5%)であった。

推定感染地域は、県内16例(73%)、県外1例(5%)、国内(都道府県不明)1例(5%)、国外2例(9%)、不明2例(9%)であり、約8割(18例)が国内(県内を含む)での感染と推定されていた(表)。

表 2013年から2025年の県内の侵襲性髄膜炎菌感染症22例の
推定感染地域(2025年第1週時点)

推定感染地域	届出数
国内	18
県内	16
県外	1
都道府県不明	1
国外	2
不明	2

髄膜炎菌はグラム陰性の双球菌で、健康なヒトの鼻咽頭からも低頻度ながら分離され、保菌者・患者から飛沫感染で伝播する。侵襲性感染症としては、菌血症(敗血症なし)、髄膜炎を伴わない敗血症、髄膜炎、髄膜脳炎の4つの病型がある。敗血症を発症すると予後が悪い。急性劇症型として副腎出血や全身のショック状態を呈するWaterhouse-Friderichsen症候群がある。非侵襲性

感染症としては、肺炎・尿道炎など多彩な病像がある。潜伏期間は2～10日（平均4日）で発症は突発的である⁴⁾。

侵襲性髄膜炎菌感染症のリスク因子は、多くの人が集うイベント、学生寮など共同生活を行っている場などとされ、これまでに国内で届出のあった患者には海外渡航歴がないことが多い^{1,4)}。

診断した医師は直ちに保健所へ届出を行うこととされている。濃厚接触者に対しては可能な限り早期に抗菌薬による曝露後の予防投与が推奨されている。侵襲性感染のほとんどはA、B、C、Y、Wの5つの血清群によるものであり、国内ではA、C、Y、W群を含む4価ワクチンが承認されているが、B群には効果がないため注意が必要である。海外の流行地域への渡航者やハイリスク者（無脾症、脾臓摘出者、補体欠損症、免疫不全者など）に対して接種が推奨されている^{1,4,5)}。

■参考・引用

- 1)国立感染症研究所：感染症法に基づく侵襲性髄膜炎菌感染症の届出状況のまとめ（更新）、2013年4月～2024年6月
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/bac-meningitis-m/bac-meningitis-idwrs/12866-mlst-20240912.html>
- 2)国立感染症研究所：IDWR速報データ 2024年第51週
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/data/13070-idwr-sokuho-data-j-2451.html>
- 3)厚生労働省・国立感染症研究所：感染症発生動向調査事業年報
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/allarticles/surveillance/2270-idwr/nenpou/12553-idwr-nenpo2022.html>
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/allarticles/surveillance/2270-idwr/nenpou/12554-kako2022.html>
- 4)国立感染症研究所：侵襲性髄膜炎菌感染症 2013年4月～2017年10月
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/bac-meningitis-m/bac-meningitis-iasrtpc/7784-455t.html>
- 5)新興再興感染症のリスク評価とバイオテロを含めた危機管理機能の実装のための研究班：髄膜炎菌髄膜炎
<https://www.niph.go.jp/h-crisis/bt/other/38detail/>

【Topics】

《年末年始に海外へ渡航された皆様へ》

感染症には、潜伏期間（感染してから発症するまでの期間）が数日から1週間以上と長いものもあり、渡航中や帰国直後に症状がなくても、しばらくしてから具合が悪くなる場合があります。その場合は、医療機関に事前に電話連絡して海外渡航歴があることを伝えた上で受診し、渡航先、滞在期間、現地での飲食状況、渡航先での活動内容、動物との接触の有無、ワクチン接種歴等についてお伝えください。その他詳細は下記をご参照ください¹⁻³⁾。

■参考・引用

- 1)厚生労働省検疫所 FORTH：海外へ渡航される皆さまへ!
https://www.forth.go.jp/news/20220722_00001.html
- 2)【感染症エクспレス@厚労省】Vol.518（2024年8月4日）
<http://kansenshomerumaga.mhlw.go.jp/backnumber/2024-08-04.html>
- 3)【感染症エクспレス@厚労省】Vol.519（2024年8月19日）
<http://kansenshomerumaga.mhlw.go.jp/backnumber/2024-08-19.html>